

2026年4月28日

芙蓉総合リース株式会社  
株式会社インボイス

## 「経理業務 DX 最前線サミット 2026 Summer」オンラインカンファレンス開催

この度、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田寛明、以下「芙蓉リース」）の連結子会社である株式会社インボイス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁多見 斎、以下「インボイス」）は、2026年6月2日(火)、3日(水)に、【経理業務DX最前線サミット 2026 Summer ～ 次世代経理のロードマップ 「人手不足」を「仕組み」で超える、経理組織の作り方 15選～】というテーマで無料オンラインカンファレンスを開催いたします。



開催日時	2026年6月2日（火）・3日（水） 10時～15時
カンファレンス名	経理業務 DX 最前線サミット 2026 Summer ～次世代経理のロードマップ「人手不足」を「仕組み」で超える、経理組織の作り方 15選～
開催形式	オンライン（Bizibl）
参加費	無料
主催	株式会社インボイス
申込URL	<a href="https://media.invoice.ne.jp/lp/conference2026/summer/invoice.html">https://media.invoice.ne.jp/lp/conference2026/summer/invoice.html</a> ※カンファレンス概要ページからの事前お申込となります。

## <カンファレンス概要>

経理業務におけるDXツールやAIサービスは急速に拡大し、今や「DX化やAIで何ができるのか」ではなく「自分たちの業務にどう組み込むか」、つまり具体的な運用を検討する段階に入っています。一方で、経理の現場ではこうした声も少なくありません。

「業務を自動化する以前に、システムに読み込ませる会計データの作成に時間がかかる」

「人員を増やせない中で業務の質と速さを求められる」

こうした状況では、新しいシステムの導入以前に、既存の業務課題がボトルネックとなり、DXを前提とした業務設計に踏み出せないケースが多く見られます。今求められているのは、単なる効率化ではなく、手元の業務を分解し、業務をシステムで自動化しても、再現性を維持できる「構造的な仕組み」です。

本カンファレンスでは、業務の見直しから、AI・DXツールを活用できる経理組織への移行プロセスまでを2日間に分けて解説します。

「DX化に向けた次の打ち手が見えない」「DX化で経理組織のレベルを高めたい」といった方は、ぜひご参加ください。

## <本カンファレンスでわかること>

- ・最新の経理業務DX、AI活用のサービス種類と活用領域
- ・各社の経理業務DX、AI活用サービスの具体的なメリットやポイント
- ・経理業務のDX、AI活用を通じた次世代の経理組織のあり方以上

### ■ サービス概要

Gi通信：<https://gi.invoice.ne.jp/>

OneVoice公共：<https://onevoice.invoice.ne.jp/>

OneVoicePalette：<https://palette.invoice.ne.jp/>

### ■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社インボイス マーケティング推進部 [担当：渡邊]

TEL：03-5275-7241